

東城病院 2025プラン

令和5年6月作成

項目	内容
医療機関名	医療法人社団増原会東城病院
R5.4.1現在の病床数(総数)	50
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	50
・休床	
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	50
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	50
・休床	
職員数(令和5年8月1日現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・医師 常勤 3人, 非常勤 0.3人 ・看護師 常勤 27人, 非常勤 0.6人 ・薬剤師 常勤 2人 ・理学療法士 常勤 8人 ・放射線技師 常勤 1人 ・臨床工学技士 常勤 4人 ・管理栄養士 常勤 2人 ・その他職員 常勤 29人 ・計 常勤 76人 非常勤 0.9人
現在(令和5年5月1日現在)、自施設の担っている診療実績(2022年度実績)	療養病棟入院料1 平均在院日数142.6日 病床稼働率94.51%
現在(令和5年6月6日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	往診・訪問リハビリ
現在(令和5年6月6日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	受け入れられない
現在(令和5年6月6日現在)の他機関との連携	急性期等については、庄原赤十字病院、市立三次中央病院等へ。主に慢性期の患者を受け入れている。
現在(令和5年6月6日現在)の自施設の課題	当地域において、急性期医療が終了した患者を受け入れる施設が、不十分と思われる。そうした中で充実した受け入れ態勢を保っていくための検討は必要と考える。
R7年(2025)において地域で担う役割	急性期医療が終了した患者の受け入れ。在宅医療で急性増悪した患者の受け入れ。
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	かかりつけ医の機能等の充実
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	現状維持できればいいと思っている
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	受け入れられない
R7年(2025)の他機関との連携	主に慢性期の患者さんの受け入れ
R6(2024)からの働き方改革への対応について	現状を維持するために努力する
建物の建替え、改修予定	なし
高額医療機器の購入	状況次第
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	人的資源の問題

庄原同仁病院 2025プラン

令和5年7月作成

項目	内容
医療機関名	庄原同仁病院
R5.4.1現在の病床数(総数)	60床
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	60床
・休床	
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	60床
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	60床
・休床	
職員数(令和5年7月31日現在)	医師4(P2)看護師26(P3)准看護師12(P5)看護補助者33(P5)薬剤師2(P1)理学療法士2・作業療法士1・管理栄養士1・栄養士2・調理員8(P2)放射線技師1(P1)事務職員8・その他7(P2)計107名(P21) * ()は内数でパート(非常勤)の人数
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている診療実績(令和4年度実績)	令和4年度、8月のコロナの院内感染で稼働率71.7%に低迷 令和5年7月81.1%→90%に戻りつつある。 ほとんどが近隣の急性期病院の紹介。 医療区分2.3の割合が9割以上。
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	特に担ってはいません。
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	特に担ってはいません。
現在(令和5年7月31日現在)の他機関との連携	庄原赤十字病院・西城市民病院・三次中央病院・三次地区医療センターからの紹介での入院がほとんどであるが、急性期病院での検査、治療が必要な時は紹介を行っている。
現在(令和7年7月31日現在)の自施設の課題	人材の確保(医師・看護師・看護補助者)が大変であり、看護師も常勤で夜勤も、早出も遅出もなんでもこなせる看護師の人数が少ない。また看護補助者も募集してもなかなか見つからない。将来に向けての若い人材の確保が必要。また将来の管理職候補者の育成が課題である。
R7年(2025)において地域で担う役割	急性期・回復期病院の後方支援(在宅・施設には帰れない患者様のケア)
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	密な連携、細かな患者情報の提供、多職種でのケアカンファレンスがオンラインでも入退院時に行えればよい。
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	現状のまま
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	現状のまま
R7年(2025)の他機関との連携	現在とほぼ変わらず後方支援。
R6(2024)からの働き方改革への対応について	ほとんど残業がないので対応はできている。
建物の建替え、改修予定	今現在は予定ナシ。
高額医療機器の購入	特に予定はナシ。
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	人材不足の上、教育に時間がかかるので、お互いに協力できればいいと思う。 備北圏域で働きたい人の人材バンクのようなものができて共有できればいいと思う。

備北ななつか病院 2025プラン

令和5年6月作成

項目	内容
医療機関名	備北ななつか病院
R5.4.1現在の病床数(総数)	113床
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	113床
・休床	
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	113床
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	113床
・休床	
職員数(令和5年6月30日現在)	医師 常勤1人 非常勤34人 看護師 常勤17人 非常勤2人 准看護師 常勤13人 非常勤1人 看護補助者 常勤22人 非常勤14人(含む障害者3人) 薬剤師 常勤1人 非常勤0人 事務職員 常勤2人 非常勤0.4人 合計 常勤 56人 非常勤 51.4人
現在(令和5年6月30日現在)、自施設の担っている診療実績(2022年度実績)	基本理念・方針 患者や家族の想いを尊重し医療や看護に支えられた医療を提供する。 地域の要望に応えるのみでなく広範囲の切実な要望にも応えられる体制の実現 令和4年度実績 届出入院基本料 療養病床届出1 平均在院日数 350日 病床稼働率 100% 休日受診・時間外受診数 0人
現在(令和5年6月30日現在)、自施設の担っている政策医療(3疾病5事業、在宅医療)	なし
現在(令和5年6月30日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	なし
現在(令和5年6月30日現在)の他機関との連携	入院受け入れに関し地域総合病院の期待に応えるべく次の各医療機関と調整を行いながら対応する体制としている。 各医療機関とは地域基幹病院である市立三次中央病院・庄原赤十字病院・世羅中央病院
現在(令和5年6月30日現在)の自施設の課題	地域医療需要減少が人口減少と共に見込まれることは大きな課題である。しかしながら入院申し込みがベッド数の2倍前後で推移しており現体制を維持する方針。 死亡者は診療報酬制度に沿った入院実績であり繰り返しヒアリングで報告済み。 急性期よりの受け皿と容易にならない現状であるがベッドに制限がありやむえない。
R7年(2025)において地域で担う役割	慢性期医療機関としての役割継続
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	特に希望なし
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	なし
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	なし
R7年(2025)の他機関との連携	慢性期医療機関としての役割継続
R6(2024)からの働き方改革への対応について	2019年(令和元年)6月より三次労働基準監督署へ出向き「医療の働き方改革」について指導・援助を受けながら現在に至っている。 厚生労働省の副業・兼業ガイドラインに沿って医師については月80時間、職員については45時間を超えないよう管理している。2022年7月21日のヒアリングでも申し上げている。国は副業・兼業を推進しており働き方改革は長時間労働が課題であり本業での残業はホームページにも載せている様に全くない。
建物の建替え、改修予定	予定なし
高額医療器の購入	「超音波検査診断装置」機器の購入を計画
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	予期せぬ災害に不安を感じる。例えば長時間にわたる大規模停電重症患者が多いため長時間停電発生はダメージが大きいと想像する。 停電のための発電機を整備するにしてもエアコンを発電機稼働にするには投資金額多額である。社会福祉法人などの様に補助金制度があれば良いが対象外である。

ビハーラ花の里病院 2025プラン

令和5年7月作成

項目	内容
医療機関名	医療法人 微風会 ビハーラ花の里病院
R5.4.1現在の病床数(総数)	290床
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	290床
・休床	
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	260床~290床
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	260床~290床
・休床	
職員数(令和5年7月1日現在)	医師 常勤4人・非常勤18人 看護師 常勤45人・非常勤3人 准看護師 常勤33人・非常勤2人 看護補助者 常勤73人・非常勤4人 薬剤師 常勤3人 PT 常勤8人・OT 常勤5人・ST常勤 3人 その他 常勤56人 非常勤8人 常勤230人 非常勤35人 合計265人
現在(令和5年7月1日現在)、自施設の担っている診療実績(4年度実績)	療養病床入院基本料 I 平均在院日数 418日 平均入院患者 270名 平均外来患者 24名
現在(令和5年7月1日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	「脳神経内科」認知症、難病(ALS、パーキンソン病等)脳血管障害
現在(令和5年7月1日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	医療機器等の設備が十分整っていない為、受け入れていない。
現在(令和5年7月1日現在)の他機関との連携	高度医療、手術等が必要な場合、三次中央病院などに依頼し急性期を脱し回復後は当院で受け入れ可能。
現在(令和5年7月1日現在)の自施設の課題	医療区分2・3の割合が94%を占めており重症患者多数の為、全床酸素、吸引等の設備確保の継続検討を行っている。
R7年(2025)において地域で担う役割	急性期病院にて回復した患者、慢性期疾患、難病患者を積極的に受け入れる。
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	特になし
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	脳神経内科分野を中心に継続していく。
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	特になし
R7年(2025)の他機関との連携	地域連携を通して、県内外の病院との入退院や情報等の連携あり。
R6(2024)からの働き方改革への対応について	全般的に家庭との両立の為、福利厚生、無残業への取りくみ。
建物の建替え、改修予定	現在、会議室・相談室の新築や改修工事の進行中、9月完成予定。
高額医療機器の購入	予定なし
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	特に医師、看護師、看護補助者の確保。

医療法人 たかば内科医院 2025プラン

令和5年7月作成

項目	内容
医療機関名	医療法人 たかば内科医院
R5.4.1現在の病床数(総数)	18
・高度急性期	0
・急性期	0
・回復期	0
・慢性期	18
・休床	0
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	18
・高度急性期	0
・急性期	0
・回復期	0
・慢性期	18
・休床	0
職員数(令和5年7月31日現在)	22
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている診療実績(5年度実績)	有床診療所入院基本料 有床診療所療養基本料
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	がん、糖尿病、在宅医療を担っている。
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	新型コロナウイルス感染症に係る診療・検査医療機関として対応。
現在(令和5年7月31日現在)の他機関との連携	2次救急は市立三次中央病院へ。主に慢性期を担う。
現在(令和5年7月31日現在)の自施設の課題	特になし。
R7年(2025)において地域で担う役割	病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能。緊急時に対応する機能。在宅医療の拠点としての機能。終末期医療を担う機能。
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	市立三次中央病院は、圏域内の高度急性期を担ってほしい。
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	がん、糖尿病、在宅医療を担っている
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	新型コロナウイルス感染症に係る診療・検査医療機関として対応。
R7年(2025)の他機関との連携	2次救急は市立三次中央病院へ。主に慢性期を担う。
R6(2024)からの働き方改革への対応について	引き続き、勤怠管理を行っていく。
建物の建替え、改修予定	未定
高額医療機器の購入	未定
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	特になし。

大倉医院 2025プラン

令和5年8月作成

項目	内容
医療機関名	医療法人ともみ会 大倉医院
R5.4.1現在の病床数(総数)	19
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	19
・慢性期	
・休床	
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	19
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	19
・慢性期	
・休床	
職員数(令和5年8月15日現在)	・医師 常勤 1名 非常勤 1名 ・介護福祉士 常勤 2名 非常勤 1名 ・看護師 常勤 9名 非常勤 5名 ・管理栄養士 常勤 1名 非常勤 0名 ・介護補助 常勤 0名 非常勤 1名 ・事務・調理 常勤 8名 非常勤 4名 (合計33名)常勤計21名 非常勤計12名
現在(令和5年3月31日現在)、自施設の担っている診療実績(令和4年度実績)	・平均在院日数 一般病棟 30日、療養病床 123.1日 ・病床稼働率 18人 ・休日に受診した患者のべ数 75人 ・夜間に受診した患者のべ数 367人 ・救急車の受け入れ件数 93人
現在(令和5年8月23日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患、救急へき地医療、在宅医療を担っている。
現在(令和5年8月23日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	発熱外来での対応を行っている。陰圧室などなく、入院対応はしていない。
現在(令和5年8月23日現在)の他機関との連携	一次救急を担い、二次、三次救急は三次中央病院、庄原赤十字病院へ紹介している。
現在(令和5年8月23日現在)の自施設の課題	地域への医療需要が当院に対して高まっている反面、看護・事務スタッフの人員不足により、対応に時間を要していること。
R7年(2025)において地域で担う役割	呼吸器、消化器癌を中心としたがん診療を継続し、また、在宅診療や回復期の患者受け入れなど、地域のニーズに則した役割を担う。
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	二次・三次救急や新興感染症、癌への高度先進医療を担ってほしい。
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患、救急へき地医療、在宅医療を担っている。
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	発熱外来での対応を行っている。陰圧室などなく、入院対応はしていない。
R7年(2025)の他機関との連携	一次救急を担い、二次、三次救急は三次中央病院、庄原赤十字病院へ紹介している。
R6(2024)からの働き方改革への対応について	看護師不足の対策として、外国人実習生制度を活用予定。
建物の建替え、改修予定	予定なし
高額医療機器の購入	予定なし
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	事務スタッフ・看護師の確保ができない状況にあり又、高齢化も進んでいる。

小川眼科 2025プラン

令和5年9月作成

項目	内容
医療機関名	医療法人 輝眸会 小川眼科
R5.4.1現在の病床数(総数)	8
・高度急性期	
・急性期	8
・回復期	
・慢性期	
・休床	
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	8
・高度急性期	
・急性期	8
・回復期	
・慢性期	
・休床	
職員数(令和5年9月1日現在)	医師 常勤 1人 非常勤 1人 看護師 2人 視能訓練士 1人 臨床検査技師 1人 看護助手 2人 事務 3人 (常勤 10人 非常勤 1人 合計 11人)
現在(令和5年9月1日現在)、自施設の担っている診療実績 (R4年度実績)	外来1日平均55人 年間手術数360眼
現在(令和5年9月1日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	白内障、緑内障、硝子体手術での外来及び短期滞在手術希望者に対応している
現在(令和5年9月1日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	専門外のため不対応
現在(令和5年9月1日現在)の他機関との連携	短期滞在手術希望者のみとし入院希望者は主に市立中央病院へ紹介
現在(令和5年9月1日現在)の自施設の課題	給食関係、看護師などの人材不足
R7年(2025)において地域で担う役割	人材不足が解消されなければ短期滞在手術のまま 解消されれば入院手術を再開する
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	特になし
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	入院手術の再開
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	専門外で受け入れ不可と考える
R7年(2025)の他機関との連携	長期入院を必要とする患者及び難治症患者は紹介する
R6(2024)からの働き方改革への対応について	理事長兼院長は来年後期高齢者となるため、院長交代を考えている
建物の建替え、改修予定	築20年となり補修工事を行っているが、建て替え改修の予定はない
高額医療機器の購入	故障改修不能機器についてはその度買い替え等を行っている
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	看護師、視能訓練士、給食関係の人材不足

内科・外科鳴戸医院 2025プラン

令和5年7月作成

項目	内容
医療機関名	医療法人内科・外科鳴戸医院
R5.4.1現在の病床数(総数)	19
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	19
・慢性期	
・休床	
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	19
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	19
・慢性期	
・休床	
職員数(令和5年7月1日現在)	・医師常勤1名 ・看護師常勤3名 非常勤1名 ・准看護師常勤4名 ・臨床検査技師常勤1名 ・看護助手常勤2名 ・事務常勤4名 ・清掃非常勤1名 合計 17名(常勤15名 非常勤2名)
現在(令和5年7月1日現在)、自施設の担っている診療実績(4年度実績)	有床診療所入院基本料5 1日平均在院数 12名 病床稼働率:64%
現在(令和5年7月1日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	かかりつけ医・在宅医療
現在(令和5年7月1日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	発熱外来・急性期を脱した患者の受け入れ
現在(令和5年7月1日現在)の他機関との連携	一次救急を担い二次救急は市立三次中央病院・三次地区医療センターへ紹介
現在(令和5年7月1日現在)の自施設の課題	人材不足・経営環境悪化から今後の有床診療所の存続が見通せない状況
R7年(2025)において地域で担う役割	在宅・かかりつけ医
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	役割分担はかなりできているが、精神科との圏域内の連携の不安定
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	在宅・かかりつけ医
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	現在の対応でよい
R7年(2025)の他機関との連携	かなり出来ている
R6(2024)からの働き方改革への対応について	開業医の改善
建物の建替え、改修予定	なし
高額医療機器の購入	予定なし
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	人材不足・経営環境悪化から今後の有床診療所の存続が見通せない

あんどろ眼科 2025プラン

令和5年8月作成

項目	内容
医療機関名	あんどろ眼科
R5.4.1現在の病床数(総数)	8
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	
・休床	8
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	8
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	
・慢性期	
・休床	8
職員数(令和5年8月25日現在)	9
現在(令和5年8月25日現在)、自施設の担っている診療実績(4年度実績)	年間約一万人の外来診療をしています。
現在(令和 年 月 日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	
現在(令和 年 月 日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	
現在(令和5年8月25日現在)の他機関との連携	三次中央病院眼科に、手術の必要な患者さんや高度な検査や治療が必要な患者さんを紹介。
現在(令和5年8月25日現在)の自施設の課題	看護師、医療事務スタッフ不足、院長の高齢化。
R7年(2025)において地域で担う役割	眼科の新規開業が11月にあり、役割は減少。
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	三次中央病院眼科の3人体制が維持されるのかが心配。市長さんが選挙の時に掲げた全室個室化の構想で新病院の建設・完成が遅れないか心配。完成予定はいつになりますか。
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	
R7年(2025)の他機関との連携	
R6(2024)からの働き方改革への対応について	
建物の建替え、改修予定	なし
高額医療機器の購入	なし
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	備北地区の先生の多くが70代に突入。地域医療を担う かかりつけ医の確保が大切。

医療法人社団 岡崎医院 2025プラン

令和5年8月作成

項目	内容
医療機関名	医療法人社団 岡崎医院
R5.4.1現在の病床数(総数)	19
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	19
・慢性期	
・休床	
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	19
・高度急性期	
・急性期	
・回復期	19
・慢性期	
・休床	
職員数(令和5年7月31日現在)	医師:常勤1人 看護師:常勤5人 非常勤7人 介護職員:常勤6人 非常勤5人 放射線技師:常勤1人 非常勤1人 リハビリ:常勤6人 栄養士:常勤1人 事務職員:常勤4人 非常勤1人 合計:38人 常勤24人 非常勤:14人
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている診療実績(令和5年度実績)	現在(令和5年7月)、自施設の担っている診療実績 平均在院日数:28.6日 稼働率:87.4%
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	5疾病5事業・在宅医療はかかりつけ医として他医療機関と連携して担っている
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	外来にて発熱患者の診療(診断及び治療、病状に応じ紹介)を行っている。入院は対応可能病状、急性期を脱した患者の受け入れる。
現在(令和5年7月31日現在)の他機関との連携	1次救急(プライマリ・ケア)を担い、2次救急は医療センター・中央病院は紹介・搬送。精査ご当院で可能な状態、また急性期を脱した患者については生活期を意識し診療・リハビリを行う。
現在(令和5年7月31日現在)の自施設の課題	地域の医療需要の減少が見込まれ、三次中央病院や医療センターの今後の機能によって、現状の体制を維持するべきかどうか検討中。国の医療計画の中で有床診療所に求められている役割が何なのかが分からない。(国としてはコストパフォーマンスはいいが、手間のかかる患者さんが多い)
R7年(2025)において地域で担う役割	現状、各医療機関が十分な役割・機能を発揮できず受け入れられない、また制度のはざままで対応できず困っている患者さんに対して、自由度の高さで対応する(診療報酬は低く維持は困難かもしれない)。生活期を意識したのリハビリ、及び地域づくり。かかりつけ医として住民の疾病管理。
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	圏域内でプライマリ・ケアから高度急性期までの医療を担う(地域完結)。精神科救急の体制作り。疾病により障害が残っても、圏域で高次機能訓練等を行い、社会復帰(就労)ができるようにしてもらいたい。
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	かかりつけ医として終末期まで関わる。生活を意識した生活期リハビリテーションを行う。在宅支援診療所機能の充実。
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	発熱患者の対応(診断・治療・トリアージ・他医療機関への紹介)。他の入院患者さんの安全確保(設備等)と対応できる人員確保ができれば対応。
R7年(2025)の他機関との連携	チームとして在宅医療連携。病状に応じた医療センター、中央病院と連携。入院が必要で全身状態が落ち着いた患者さんに対しての後方入院医療機関。
R6(2024)からの働き方改革への対応について	プライマリ・ケアを行うと多岐にわたる疾病に対しての対応が必要となる。療養管理の質を担保しながら、作業の簡素化・効率化を行っていく。
建物の建替え、改修予定	建物の耐震化・老朽化や修繕箇所が出てくるが、現状では困難なため予定できない。(診療報酬が変わる、有床診の先行きが不透明)
高額医療機器の購入	現在使用している、超音波診断装置がリース終了の時期になっている。令和7年頃に新規購入を検討している。
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	診療報酬が変わると全てが変わる不安。有床診の先行きが不透明(地域での位置づけと、採算があった報酬が一致する道筋がほしい。)

医療法人社団 備北眼科 2025プラン

令和5年8月作成

項目	内容
医療機関名	医療法人社団 備北眼科
R5.4.1現在の病床数(総数)	4
・高度急性期	
・急性期	4
・回復期	
・慢性期	
・休床	
R7.7.1現在の予定病床数(総数)	4
・高度急性期	
・急性期	4
・回復期	
・慢性期	
・休床	
職員数(令和5年7月31日現在)	医師 常勤1 非常勤0 看護師 常勤0 非常勤1 准看護師 常勤2 非常勤0 視能訓練士 常勤1 非常勤0 看護助手 常勤1 非常勤0 事務 常勤5 非常勤1 合計 12(常勤10 非常勤2)
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている診療実績(4年度実績)	白内障 白内障手術は日帰りか一泊で行っている。 91%の患者が日帰りである。
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	眼科一般
現在(令和5年7月31日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応	受け入れていない
現在(令和5年7月31日現在)の他機関との連携	三次中央病院等と連携
現在(令和5年7月31日現在)の自施設の課題	特になし
R7年(2025)において地域で担う役割	眼科 地域医療を担うことを目的とする
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	特になし
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	特になし
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	受け入れる予定はない
R7年(2025)の他機関との連携	三次中央病院等と連携
R6(2024)からの働き方改革への対応について	特になし
建物の建替え、改修予定	特になし
高額医療機器の購入	特になし
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	特になし

医療法人 庄原眼科 2025プラン

令和5年2月作成

項目	内容	
医療機関名	医療法人 庄原眼科	
R5.4.1現在の病床数(総数)		2
・高度急性期		
・急性期		2
・回復期		
・慢性期		
・休床		
R7.7.1現在の予定病床数(総数)		2
・高度急性期		
・急性期		2
・回復期		
・慢性期		
・休床		
職員数(令和 5年 2月 1日現在)		7
現在(令和 5年 2月 1日現在)、自施設の担っている診療実績 (年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・有床診療所入院基本料6 ・受診患者延数(令和4年1月1日から令和4年12月1日まで)9307件 ・入院患者延数(令和4年1月1日から令和4年12月1日まで)70件 	
現在(令和 5年 2月 1日現在)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)		240
現在(令和 5年 2月 1日現在)、自施設の担っている新興感染症等対応		2
現在(令和 5年 2月 1日現在)の他機関との連携		180
現在(令和 5年 2月 1日現在)の自施設の課題	特になし	
R7年(2025)において地域で担う役割	政策医療、新興感染症、および他医療機関との連携	
R7年(2025)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	他医療機関との連携	
R7年(2025)、自施設の担っている政策医療(5疾病5事業、在宅医療)	主に糖尿病。他に精神疾患、脳卒中。	
R7年(2025)、自施設の担っている新興感染症等対応	新型コロナウイルスへの対応	
R7年(2025)の他機関との連携	積極的に行いたい。	
R6(2024)からの働き方改革への対応について	対応済み	
建物の建替え、改修予定	若干の補修	
高額医療機器の購入	硝子体手術装置 超広角眼底撮影装置	
今後の自施設の課題、不安要素、他医療機関との連携希望など	今まで通りに良好な他医療機関との連携希望	